

厚生文教委員会報告書

平成30年12月11日

備前市議会議長 立川 茂 殿

委員長 中西 裕 康

平成30年12月11日に委員会を開催し、次のとおり議決したので議事録を添えて報告する。

記

案 件	審査結果	少数意見
議案第121号 平成30年度備前市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決	なし
議案第122号 平成30年度備前市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決	なし
議案第123号 平成30年度備前市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決	なし
議案第100号 平成30年度備前市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	なし
議案第101号 平成30年度備前市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	なし
議案第102号 平成30年度備前市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	なし
議案第107号 平成30年度備前市病院事業会計補正予算(第2号)	原案可決	なし
議案第108号 備前市長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	なし
議案第111号 備前市特別養護老人ホーム大ヶ池荘、備前市養護老人ホーム蕃山荘及び備前市デイサービスセンター大ヶ池荘の指定管理者の指定について	原案可決	なし
議案第112号 備前市デイサービスセンターしらうめ荘の指定管理者の指定について	原案可決	なし

<所管事務調査>

- 日生病院の病室の稼働率について
- 市立3病院のPRについて
- とくし丸の現状について
- 市営バスの運転手について
- 市立3病院の連携について
- 病院の受診料等の支払い方法について
- 7月豪雨災害で床上浸水にあった家屋の復旧状況について
- 市立3病院での電子カルテのデータリンクについて
- まちづくり会議の現状について
- 市民ファシリテーターについて
- 地域包括ケアシステムの進捗状況について
- 放課後児童クラブの現状について

<報告事項>

- 公用車事故について（市民協働課）
- 公用車事故について（介護福祉課）
- デイサービスセンター大ヶ池荘について（社会福祉課）
- 公用車事故について（市立病院）

《 委員会記録目次 》

招集日時・出席委員等	1
開会	2
議案第121号の審査	2
議案第122号の審査	3
議案第123号の審査	3
議案第100号の審査	4
議案第101号の審査	5
議案第102号の審査	5
議案第107号の審査	6
議案第108号の審査	6
議案第111号の審査	7
議案第112号の審査	8
報告事項	9
所管事務調査	15
閉会	24

厚生文教委員会記録

招集日時	平成30年12月11日（火）	午前9時30分		
開議・閉議	午前9時30分	開会　～	午前11時14分	閉会
場所・形態	委員会室A・B	会期中(第7回定例会)の開催		
出席委員	委員長	中西裕康	副委員長	青山孝樹
	委員	橋本逸夫		守井秀龍
		沖田　護		西上徳一
		森本洋子		星野和也
欠席委員		なし		
遅参委員		なし		
早退委員		なし		
列席者等	議長	立川　茂		
	委員外議員	なし		
	紹介議員	なし		
	参考人	なし		
説明員	総務部長	佐藤行弘	総務課長	河井健治
	市民生活部長	今脇誠司	市民課長	野道徹也
	市民協働課長	杉田和也	環境課長	久保山仁也
	保健福祉部長 兼　福祉事務所長	山本光男	保健課長	森　優
	介護福祉課長	今脇典子	社会福祉課長	丸尾勇司
	子育て支援課長	眞野なぎさ		
	日生総合支所長	大道健一	吉永総合支所長	金藤康樹
	病院総括事務長 兼　さつき苑事務長	金井和字	日生病院事務長	石原史章
	吉永病院事務長	万波文雄		
傍聴者	議員	尾川直行	石原和人	藪内　靖
	報道関係	なし		
	一般傍聴	なし		
審査記録	次のとおり			

午前9時30分 開会

○中西委員長 おはようございます。

ただいまの出席は8名でございます。定足数に達しておりますので、これより厚生文教委員会を開会いたします。

本日の委員会は、市民生活部、保健福祉部、市立病院のほか関係の議案審査、所管事務調査を行います。

所管事務調査に先立ち、執行部からの報告事項をお受けいたしますので、よろしくお願ひします。

それでは、議事に入ります。

直ちに、本委員会に付託された議案の審査を行います。

議案番号が前後しますが、12月5日に追加上程されました議案のうち、議案第121号から議案第123号について先に審査を行います。こちらは、人事院勧告による補正予算となっており、総務部の説明員の方にもお入りいただいております。

***** 議案第121号の審査 *****

○中西委員長 それでは、議案第121号平成30年度備前市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）を審議いたします。

議案第121号について質疑を希望される方の発言を許可いたします。

○守井委員 給与条例の改正に伴ってということなんですけれども、期末手当あるいは年度末手当というような形での変更だというふうに認識しておるんですけれども、具体的にトータル的にはどこがどういうぐあいに変わったか端的にお示しいただきたいというふうに思うんですけど、いかがでしょうか。

○河井総務課長 このたびの人事院勧告では、官民較差の0.16%を埋めるべく、給与の調整と賞与につきましては、勤勉手当に0.05カ月分を上乗せするという改定が行われております。

なお、給与のほうですけれども、初任給から若年層への加重配分ですね。中層から上については定額というふうな改定が行われており、初任給で申し上げますと、例えば1,500円程度の増加と、中層から上では月収で申し上げますと、おおむね400円程度の増加というふうな改定を行われております。それに準じた改定を本市につきましても行っているところでございます。

○守井委員 それで、勤勉手当と期末手当が変わったんだろうと思うんですが、年間を通しての手当が変更前と変更後とどうなったか。4.85カ月か4.35カ月になるんか、トータルで幾らか教えていただけますか。

○河井総務課長 期末と勤勉とを合わせたトータルでは4.45カ月です。

○守井委員 以前は幾らだったということになるんですか。

○河井総務課長 4.4カ月でございます。

○中西委員長 ほかにございませんでしょうか。

よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、質疑を終了してよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

これより議案第121号を採決いたします。

本案は原案のとおり決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。よって、議案第121号は原案のとおり可決されました。

以上で議案第121号の審査を終わります。

***** 議案第122号の審査 *****

○中西委員長 続きまして、議案第122号平成30年度備前市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第3号）について審査を行います。

議案第122号について質疑を希望される方の発言を許可いたします。

○守井委員 金額の変更が2万8,000円という少額で、事務手続のほうが煩雑になるというように感じるんですけども、このような金額であれば予備費で対応できるんじゃないかと思うんですけども、いかがなんでしょうか。

○河井総務課長 今後、この少額の場合どういった対応をとるかというのは、御指摘もいただきましたので検討のほうをさせていただきたいと思っております。

○中西委員長 ほかにございませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようですので、質疑を終了してよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

これより議案第122号を採決いたします。

本案は原案のとおり決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。よって、議案第122号は原案のとおり可決されました。

以上で議案第122号の審査を終わります。

***** 議案第123号の審査 *****

○中西委員長 続きまして、議案第123号平成30年度備前市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）についての審査を行います。

議案第123号についての質疑を希望される方の発言を許可いたします。

よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

質疑を終了してよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

これより議案第123号を採決いたします。

本案は原案のとおり決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。よって、議案第123号は原案のとおり可決されました。

以上で議案第123号の審査を終わります。

これで総務関係の説明員の方の退席を許可いたします。

***** 議案第100号の審査 *****

○中西委員長 それでは、議案第100号平成30年度備前市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）についての審査を行います。

議案第100号について質疑を希望される方の発言を許可いたします。

○守井委員 後の後期高齢、介護保険も同じような理由になってるんですが、災害対応で補正をするということで国保事業会計に入ってくるわけなんですけども、国保事業における災害対応があったというふうな認識なんですけども、この災害対応の内容はどういう内容だったんでしょうか。

○森保健課長 これにつきましては、国保特会から給与を支払っております税務課の職員と保健系の職員の避難所開設に伴う時間外手当によるものでございます。

○守井委員 内容は理解できるんです。災害に対しての職員としての対応であったというふうな認識なんですけども、国保事業の中の支出としての対応をしておるんであれば、当然国保事業の会計の中に繰り入れられてくるというような形になるんですけども、国保事業をやっている中で災害対応ということであれば当然だなというような感じがあるんですけども、いわゆる災害対応に対しての応援での国保事業会計が繰り入れられてるというような感覚がちょっと見えるような感じがするんですけども、例えばその国保事業に対して災害対応として歳入を、見返りのお金ですね、というものがきちんと支払われているのかどうか、そのあたりはいかがなんでしょうか。

要するに、国保事業をいかに安くしてほしいという考え方がある中で、歳出のほうに支払いを行うのであれば、少しでもそれを減額していかないと国保事業自体の歳出がふえると。歳出自体が少なければ少ないほど黒字経営ができるということにつながるわけで、心情的には災害対応なんで職員はやらなければいけないということになるんだろうと思うんですけども、ほかの会計も一緒なんですけども、その会計で賄うことが本当に正しいのかなという感じで思うんですけど、その点いかがですか。考え方だけで結構ですけど。

○山本保健福祉部長 この災害関係の人件費につきましては歳入のほうで、これは一般会計から

の職員給与費等の繰入金ということで賄っておるということでございます。

○守井委員 災害対応分は一般会計から繰り入れて、その精算はできておるということによろしいんでしょうか。

○山本保健福祉部長 今言われたとおりでございます。

○中西委員長 ほかにございませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようですので、質疑を終了してもよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

これより議案第100号を採決いたします。

本案は原案のとおり決することに御異議ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。よって、議案第100号は原案のとおり可決されました。

以上で議案第100号の審査を終わります。

***** 議案第101号の審査 *****

○中西委員長 続きまして、議案第101号平成30年度備前市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）についての審査を行います。

議案第101号について質疑を希望される方の発言を許可いたします。

ございますでしょうか。よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようですので、質疑を終了してよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

これより議案第101号を採決いたします。

本案は原案のとおり決することに御異議ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。よって、議案第101号は原案のとおり可決されました。

以上で議案第101号の審査を終わります。

***** 議案第102号の審査 *****

○中西委員長 次に、議案第102号平成30年度備前市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）についての審査を行います。

議案第102号についての質疑を希望される方の発言を許可いたします。

ございませんでしょうか。よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようですので、質疑を終了してよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

これより議案第102号を採決いたします。

本案は原案のとおり決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。よって、議案第102号は原案のとおり可決されました。

以上で議案第102号の審査を終わります。

***** 議案第107号の審査 *****

○中西委員長 次に、議案第107号平成30年度備前市病院事業会計補正予算（第2号）について審査を行います。

議案第107号について質疑を希望される方の発言を許可いたします。

いかがでしょうか。よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようですので、質疑を終了してよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

これより議案第107号を採決いたします。

本案は原案のとおり決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。よって、議案第107号は原案のとおり可決されました。

以上で議案第107号の審査を終わります。

***** 議案第108号の審査 *****

○中西委員長 続きまして、議案第108号備前市長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例の制定についての審査を行います。

議案第108号について質疑を希望される方の発言を許可いたします。

よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようですので、質疑を終了してよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

これより議案第108号を採決いたします。

本案は原案のとおり決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。よって、議案第108号は原案のとおり可決されました。

以上で議案第108号の審査を終わります。

***** 議案第111号の審査 *****

○中西委員長 次に、議案第111号備前市特別養護老人ホーム大ヶ池荘、備前市養護老人ホーム蕃山荘及び備前市デイサービスセンター大ヶ池荘の指定管理者の指定についての審査を行います。

議案第111号について質疑を希望される方の発言を許可いたします。

○守井委員 社会福祉事業団がやられている事業で、蕃山荘でのデイサービスセンターが大ヶ池荘のほうに移転されたということですが、その後の問題点等が発生していないかどうなのか、その点だけをお聞きしたいと思います。

○丸尾社会福祉課長 ことしの4月に大ヶ池荘と蕃山荘を統合しまして、現在運営をしております。そうした中で特に問題は生じておりませんが、今後も当然経営努力をしていく必要があるというふうには思っております。

○守井委員 引き続き社会福祉事業団にお願いするということなんで、トラブルのないように、また市民に迷惑がかからないようにやっていただきたいというふうに思っております。その点いかがでしょうか。

○丸尾社会福祉課長 当然、経営努力はしていく必要があろうかと思っておりますけど、そういった面では、住民サービスの低下がないようにと考えております。

○沖田委員 大ヶ池荘は、非常に老朽化してる、設備も古くなって、車もぼろぼろというようなところでございまして、経営努力は一生懸命していただいているのは大変よく理解して御苦労さまなんですけども、そこへ来られてる方の利便性とか、環境づくりとかというところは少し努力していただきたいし、予算の要求などもしていただければいいと僕は思うんですけど、その辺の見直しとか中の問題点の整理とかということがあれば忌憚なくお伺いしときたいと思うんですけど、議事録で残るところでお聞きしときたいなと思っておりますが、いかがでしょうか。

○丸尾社会福祉課長 確かに委員さんがおっしゃるとおり、大ヶ池荘は昭和58年に開設をしておりますして今35年経過をしております。施設、車、当然傷んできております。そうした中で、今年度、来年度も含め、整備をしていく必要があるものについては、協議をしていきながら予算計上していきたいというふうに思っております。

○沖田委員 財政は全体に厳しいけども、これだけ大きな市役所を建てるのが決定したぐらいですから、やっぱり使うべき予算についてはきちっと上げて、そこでまたどうだという議論はしなきゃいけないと思いますので、遠慮なく本当のところは出していただいて、要はそこに入居されたり通う方がある程度御満足いただけるようなサービスを提供するというのは、これは責務でありますので、その点は強くお願いをしときたいと思います。コメントが一言いただければ。

○丸尾社会福祉課長 確かに、一遍には整備はできませんけど、現状の施設を維持していく方向

では頑張っていきたいなというふうに思っております。

○森本委員 関連で、利用される方もそうなんですけど、職員さんの控室なんかもうひどい状況だったので、これは早急に手を加えていただいて、職員数が足りてないということもお聞きしてしますので、一番にそこは考えてもらわないといけないかなというふうに思うんですけど。

○丸尾社会福祉課長 その辺の話までは現場からはお聞きはしていないんで、職員等の意見も聞きながら考えていきたいと思います。

○森本委員 視察に行かせていただいたときに、倉庫と職員の更衣室が一緒というとてもひどい状況だったので、職員さんも勤めには来られないというようなことも現場で声を聞いたので、職員数を確保するのが一番の問題ですし、そこら辺は早急に改善していただきたいというふうに思います。

○丸尾社会福祉課長 現状把握という意味では、今後そういった意見を聞いていこうと思います。

○森本委員 至急見に行っていたきたいと。あと一つ、蕃山荘をなくすときに、何カ月か前から利用したいって希望があってもお断りしていたという状況も後になってお聞きしてるんですけど、大ヶ池荘のほうの利用率は現在どうなっていますか。

○中西委員長 今回の議案の審査は指定管理についてということに限られています。しかし、委員のせっきくの御質問ですから、丸尾社会福祉課長、答えられる範囲で答えていただければと思います。

○丸尾社会福祉課長 報告事項で報告させていただこうと思っていたんですが、現在1日平均の利用数が定員30人に対して20.7人という状況でございます。

○中西委員長 ほかにございませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようですので、質疑を終了してよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

これより議案第111号を採決いたします。

本案は原案のとおり決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。よって、議案第111号は原案のとおり可決されました。

以上で議案第111号の審査を終わります。

***** 議案第112号の審査 *****

○中西委員長 次に、議案第112号備前市デイサービスセンターしらうめ荘の指定管理者の指定についての審査を行います。

議案第112号について質疑を希望される方の発言を願います。

ございませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようですので、質疑を終了してよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。よって、質疑を終了いたします。

これより議案第112号を採決いたします。

本案は原案のとおり決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。よって、議案第112号は原案のとおり可決されました。

以上で議案第112号の審査を終わります。

***** 報告事項 *****

○中西委員長 それでは、所管事務調査に先立ち、執行部からの報告事項をお受けいたします。

○杉田市民協働課長 市民協働課より、公用車の追突事故について御報告させていただきます。

本年11月20日開催の厚生文教委員会で御報告させていただきました。備前市伊部地内の国道2号伊部東交差点において、信号待ちのため停車していた公用車が後方から来た一般車両に追突された事故についてですが、本年12月7日に和解いたしました。本議会の最終日に報告事項として追加提出させていただきますので、よろしくお願いたします。

○今脇介護福祉課長 介護福祉課より、車両の物損事故の報告をいたします。

平成30年10月30日火曜日午後1時10分ごろ、備前市吉永町の備前市総合保健施設の駐車場に公用車を駐車し降車をいたしました。車内の中のものをとるためにもう一度運転席のドアをあけたところ、風にあおられて公用車の運転席のドアが隣の車の助手席のドアに当たったものです。当時、相手車両に人は乗っておりませんでした。助手席側のドアの修理を市加入の保険で修理中と聞いております。事故後は部内で周知をし、注意喚起をしております。

○丸尾社会福祉課長 それでは、社会福祉課よりデイサービスセンター大ヶ池荘についての報告をさせていただきます。

現在、備前市社会福祉事業団が運営をしております大ヶ池荘のデイサービス事業につきましては、平成30年度から大ヶ池荘と蕃山荘を統合して事業を行うなど赤字の解消に努めておりますが、解消には至っておりません。こうした状況の中で、施設の有効利用と人件費の削減に向けてさらなる経営努力が必要とのことから、少しでも赤字が削減できるよう、現在週6日行っておりますデイサービス事業について、土曜日を廃止して週5日の運営への変更を現在検討しております。これについて御意見をいただければというふうに思っております。

○金井病院総括事務長（備前病院）兼備前さつき苑事務長 訪問看護ステーションの車両において、訪問介護に向かう途中、香登、大内の市道交差点内で、一旦停止を無視したトラックと衝突事故がありました。事故がありましたのは10月5日ということで、報告が遅くなり申しわけご

ございません。今、相手方との示談交渉中でございます。

○森保健課長 保健課から御報告いたします。

備前市国民健康保険の特定健康診査の受診率につきまして、先日岡山県のほうから速報値の報告がありましたので御報告いたします。

平成29年度の受診率につきましては39.2%となる見込みでございます。平成28年度と比べまして0.2%増の微増となる見込みになっております。岡山県の平均は29.4%となる見込みで、県平均よりは高い値となっております。

○中西委員長 今回の数字は、課長、またペーパーでいただければと思います。

ほかに報告事項はございませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようでしたら、委員各位から質疑がありましたらどうぞ。

○沖田委員 事故っていうのは絶対ゼロというのはいかないんだけど、その報告が早い遅いは別としても、事故が起きた時点で、今メールとかファクスもあるんですけど、我々も知るだけは、例えば委員長のところへでも先に報告してもらえるととかという制度設計をしてもらえたらどうかと思うんですけどね。

我々が後から知って、おまえらそんなことも知らんのかとお叱りを受けても困りますし。ただ、個人情報の問題もございまして、その辺は協議しないといけないと思うんですけど、こんなことが起きたという時点ぐらいではちょっと報告してはどうかかと。委員長のお考えもあるかと思うんですけど、ちょっと御検討いただければ。これは別に責めてるとかというんじゃないしに、お互いにルールづくりをしといたほうがいいかなと、こう思うんです。民間業者にいると、何かあったらすぐ報告して、それから4時間後、10時間後、翌日とかという形で速報値で共有化するようにしてた記憶があります。そこまで厳密には言いませんけども、いかがかなと思いますけど、どうでしょうか。これは市役所全体の中での話なんですけど。

○今脇市民生活部長 前回の委員会的时候にもちょっと出たましたが、今現在は直近の委員会で報告すると、私の場合はそういうふうになっているんですけども、大きさにももちろんよるかなとも思います。手前みそになりますけど、先ほどからの3件については被害者側のような事故が多いです。軽微なものだったら保険で終わってしまうものもありまして、直近の委員会ではお知らせするようにするんですけども、すぐ委員長に知らせるというのもあろうかと思うんです。事故の大きさがどのくらいかということで。小さいものだったら、直近の委員会で報告ということでもいいのかなというふうに思います。事故があったらまず直近の委員会で御報告して、それから示談が成立したら、またその直近の委員会で御報告すると、そういうことをさせていただけたらと思います。

○沖田委員 部長のおっしゃるように、ランクがあると思うんですよ。軽微な内容であったり。今回は別に人が傷ついたとかということは聞いてないので、保険で処理ということもあるんです

が、その辺もひとつルールづくりを、きょうすぐというのじゃないけど、検討していただいて、もう何もなければ、今おっしゃったように直近の委員会でもいいし、職員の人でもしけがでもしたような事例があれば、すぐ全体に流すとか、委員長経由で流すか議長経由で流すとか、その辺はまた話し合っていて、一定のルールづくりをしていただければいいと。避けて通れないので、わたしらでもたまにひやっとすることがあるんで、これだけの人数がこれだけ動いているわけですから。さっき聞いたように、とまってぶつけられることもあるわけですから、そういうところを検討していただきたいということをお願いだけしときたいと思います。

○今脇市民生活部長 今の話を持ち帰りまして、庁議で提案させていただいて、全庁的にどうするかを決めていければと思います。

○星野委員 特定健診が39.2%で微増ということだったんですが、今年度のBポイントの応募必須条件として各種検診受診というのがつけ加えられています、その他の検診についての受診率の推移は把握されてますでしょうか。

○森保健課長 その他の一般会計でやっているような検診につきましては、29年度につきましては前年度とほぼ変わらないような受診率で、伸びている感じではないということです。

30年度につきましても、今の感覚としては、市民の検診と特定健診の受診率は29年度並みというように感じております。

○星野委員 また次回でいいんで、数値と、あとBポイントにこの必須条件として入れたことによる影響がどれぐらいあるかというのを、ちょっと考察していただければと思います。

○森保健課長 次回、まとめて報告したいと思います。

○沖田委員 先ほど森本委員さんちょっと心配されて御質問されてたと思うんですが、大ヶ池荘に関連して、デイサービスが週に6回から5回ということで、赤字だから合理化していいものとそうでないものというのが必然的にあると思うんですよ。ほかに無駄をなくせるものもあると思うんです。だから、何でも無料化に沿っていえば僕はかなり批判的な立場なんです。その中で、じゃあ土曜日にやめるという方向も検討されて。責めてるわけじゃないんですよ。ただ、その中で、じゃあ今どれぐらいの利用があるのかどうか教えていただければと思うんですけど、いかがでしょうか。

○丸尾社会福祉課長 デイサービスの利用に関しましては、先ほど申しましたように1日当たりの平均利用者が大体20.7人です。土曜日に関しましては、16.4の方が現在利用をしております。

○沖田委員 その3分の1とか五、六人とかというんであれば話もわかりますけど、平日と余り変わらないということで。統合はしましたよ、それからサービスも減らしますよということが本当にいいものなのかどうか。片方で、保育料や医療費が無料であったり、給食費も2人目から無料と。この差を見ると、長年備前市や県や国家のために一生懸命働いてきた方に対しても、そういうサービスをぎりぎりまで提供していくというのは、我々行政の責務じゃないかとも思うんで

す。その考えを責めてるわけじゃなくて、ちょっとでも赤字をとということで、部内でもいろいろ議論があったと思うんですけども、僕はそこは慎重に、福祉切り捨てと言われぬように考えていただきたいなというところではあるんですけど、ちょっと論議経過があれば、もう少し込み入ったことがあれば、言える範囲で言っていただければと思うんです。

○丸尾社会福祉課長 確かにおっしゃるとおりだと思います。ただ、事業団といたしましたら、昨年で1,900万円の赤字が出ております。資金残高としましては、今は1億3,700万円しかありませんというような状況の中で、このまま赤字が続くのであれば、当然3年、4年になくなってしまふということから、少しでもその改善をしていきたいという方法の一策として今現在この方法を議論中ということでございます。

○沖田委員 確かに、赤字だからというのわかるんです。事業団で運営してるというのでも、先ほどちょっと申し上げたように、大ヶ池荘へ行ってみても、ぼろぼろの施設の中で、この辺は公費を導入してもと私も思うんですけど、結構トイレなんかでも狭いし、さっき更衣室の話も出ました。御飯を食べるところも事務所の横みたいで、一生懸命努力してるのを見ると、多分どんなに経営努力しても黒字というのは、僕は不可能に近い事業だと思うんですよ。事業というのはそれぞれあって、保育園の事業がじゃああしたから黒字になるかというたらそんなものでもないし。だから、そこはやっぱり市全体、あなたの担当のところだけ考えるんじゃなしに、市長も含めて慎重に議論を進めながら、ほかにいい方法があればと。考えられての末だとは思いますが、改めて検討していただきたいということは強く要望しておきたいと思いますが、我々に対してまた要望があれば遠慮なく言っていただければいいんじゃないかと思いますが、いかがでしょうか。

○丸尾社会福祉課長 これからいろんな検討事項に至ってくると思います。そうした中で、現在言われた意見も踏まえながら、今後また検討していこうと思います。

○沖田委員 担当部長の考えもお聞きしときたいんですけど。

○山本保健福祉部長 先ほどの土曜日の廃止につきましては、16人程度の方が利用されてるということで、この人たちを切り捨てるという意味ではなくて、現在平日が20人程度の利用ということで、まだ10人程度の枠があるので、できれば16人の方については平日に割り振りをさせていただけないかということでお願いをして、幾らかでも平日の効率を上げていくということで御理解いただきたいと思います。

それから、先ほどから出ております老朽化につきましては、本来ならもう少し早く計画的に対処すべきだったのかなというふうには思うんですが、今年度からいろいろと優先順位を決めていただいて、事業団のほうから希望等をお聞きしておりますので、来年度以降順次老朽化対応についての予算計上をさせていただきたいと考えておりますので、その際はよろしくお願ひしたいと思います。

○沖田委員 担当の課長さんや現場の人たちの声も部長はよく聞いて、よく議論して、我々もで

きることは協力しなきゃいけないし、ぜひ前向きなところでの取り組みを強く要請しておきたい
と思います。

○森本委員 さっき部長が土曜日の利用を平日にって言われたんですけど、私も介護してたんで、土曜日に預けたいという方もいらっしゃると思うんですね、正直なところ。

民間でも土日にデイサービスをされているところもたくさんあります。そのことを考えた場合に、正直、土曜日の職員さんの確保が私は厳しいかなというふうに思ってるんですけど、厳しいという部分はないですか。割と若い介護士さんがおられた場合、子供の関係とかで土日はどうしても仕事に出にくいというところも民間ではたくさん話を聞きます。そういう場合、土曜日というたら職員さんの確保が私は厳しいと思うんで、人件費のことも言われたんですけど、それなら土曜日のデイサービスをやめた場合、どんだけ人件費が浮いて赤字解消になっていくのかというの、ちょっとお聞きしたい部分ではあるんですけど、いかがですか。

○丸尾社会福祉課長 確かに、おっしゃいますように、実際に土曜日がなくなったからといって、すぐにその人件費がなくなるということにはならないと思います。実際、今土曜日に仕事をされてる方については、当然他の部門、他の事業へのお手伝いをお願いすることになるかというふうに思います。すぐには表れてこないかもしれませんが、数年後にはそういった形での人件費削減ができるかなというようには考えてはおります。

○森本委員 土曜日にどうしても利用されたいという方もいらっしゃると思うんですけど、そこら辺の状況はつかんでおられての話なんですか、これは。もうそこら辺は全然考えてなくてですか。

○丸尾社会福祉課長 現在、何人の方が実際土曜日しかだめという確認までには至っておりません。現在は、こういうふうなことをしたらどうかということの中での検討でございます。

○森本委員 民間のほうも土日もされていることを考えたら、私は土曜日は続けていただきたいというふうに思います。働いている家族の方も土日を自分たちの時間に使うという方も、これは流れ的にはもう本当に今まで一般的なことなので、土曜日のデイサービス、民間に行けばいいじゃないかという話も、それは言われたら確かにそうなんですけれども、先ほど沖田委員も言われたように、この部分はしっかりと確保していただいて、土曜日も継続していただきたいというふうに私は思います。

○橋本委員 蕃山荘からこのデイサービスセンターの機能をとって大ヶ池荘に統合するときいろいろな議論があった中で、社会福祉事業団のほうは将来的には、もうデイサービスの事業自体を全廃してしまうという計画もあったと。というのが、民間がかなり同種の事業をやり出して、どちらかという利用者との争奪戦が今起きておると。そういう中で、公共が担うこのデイサービスセンターの部分、当然民間のほうもサービスがよくて公共のほうはちょっと落ちるなという状況で、今回、土曜日でも削減してしまうということになるとますますそれに拍車がかかると思うんです。今この備前市としてのデイサービスの状況というのは、民間でもかなりまだ利用者を

収容できるキャパがあるのでしょうか。例えば、福祉事業団がもう全廃しても大丈夫なのかどうか、そのあたりを教えてください。

○今脇介護福祉課長 デイサービスの利用でございますが、昨年度蕃山荘を統合することで利用率をいろいろちょっと調べましたが、まだ余力はあるというところで、利用率は100%には至ってないというところです。

○橋本委員 これで、例えば土曜日をもう休みにすると。そしたら、先ほど森本委員が言われたように、土曜日どうしても行きたいというような方は、この大ヶ池荘のデイサービスを断って、じゃあ民間の土曜日も日曜日もやってくれるところ、そういったところを探されると思うんですよね。そうすると、どんどんどんどん、これがマイナスのスパイラルに陥って利用者が減てくと。そうすると、最終的にはもう全廃しようかというようなことになるのではないかなと。そうなった段階で、デイサービスに行きたいんだけど大ヶ池荘がなくなって困るわというような方が出るのか出ないのか。いや十分もう民間のほうで代わりができるんですよという状況なのかどうか、その点をちょっと確認したいんです。

○丸尾社会福祉課長 今民間のほうにまだ余裕があるというのはありますけど、実際大ヶ池荘ではなくてはならないというような希望まで確認はできておりません。今後そういったことも確認をしていく必要もあろうかというふうには思います。

○橋本委員 この状況を見ると、徐々に縮小して行って、最終的にはこれ全廃になってしまうのかなというような意向がうかがえるんですけれども、その際にその利用者の方がとにかく困らないようにだけは、十分処置をして、これからの事業をやっていただきたいなと思います。

○守井委員 先ほどの公用車事故の件についていろいろ、全庁的に取り組まにゃいけないのじゃないんかという話があったと思うんですよ。以前からずっともう同じことを繰り返しとるような感じがするんで、運転手の教育ももちろんじゃけど、事故を起こす人に対して、ある程度運転させない期間を設けるとか、何らかの対策をしてほしいと。なれてない人というのは結構何回か繰り返しあるんじゃないんかなと。総務関係が中心になるんだろうとは思いますが、何らかの対策をぜひやってもらいたいというふうに思うんで、今までと同じ考えじゃだめじゃないんかなという感じがするんで、ちょっと検討していただきたいと思います。

○今脇市民生活部長 市民生活部でバス事業を持っています、これは人が乗るということで、特に事故に対しては一番慎重にならないといけないんだと思いますが、民間のバス会社がやる研修といいますか、そういうものをちょっと視察、研究して取り入れることが必要じゃないかなと、そういうことを含めて研究していきたいなというふうに思っています。

○中西委員長 ほかにございませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようでしたら。

では、今までの話をまとめると、一つは事故が多いんで全庁的に何らかの対策を講じるという

のと、それからもう一つはデイサービスについては慎重に討議を進めてほしいということを委員会としても執行部のほうに言って報告事項を終わりたいと思いますけど、よろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、所管事務調査に移る前に、ここで暫時休憩したいと思います。

午前10時18分 休憩

午前10時32分 再開

***** 所管事務調査 *****

○中西委員長 それでは、委員会を再開したいと思います。

本日の所管事務調査は、皆さんの日ごろからの問題意識を遺憾なく発揮していただいております。よろしくお願いいたします。

皆さん方のほうからこれを聞きたい、こんなことはどうなってるんだということがあれば、どうぞ遠慮なくお聞きください。発言を許可いたします。

○沖田委員 病院の関係ですけど、備前病院についてはこの前事務長のほうから一般質問の中でお答えいただいて、入院患者さんもふえてるといことがありますし、それからもう一つ、僕は病院でいえば、日生病院が落ちてたんですけど、その辺がどうなってるかちょっとお伺いしたいんですけど、よろしいでしょうか。

○石原日生病院事務長 御心配いただいております。今年度10月末現在での病院の稼働率を一つ申し上げますと、60%に達しております。昨年度、29年度の1年間での稼働率が56.1%ということでしたので、昨年度以上の稼働率になっていると考えております。単月で申しますと、8月が63.5%、9月が66.2%、10月が67.8%と徐々に徐々に上がってきておりますので、このペースを保ちつつ昨年度以上の稼働率を目指していきたいと思っております。外来につきましても何とか昨年度並みにはいけているのではないかとこのふうに見ておりますので、昨年度以上に期待をしているところでございます。

○沖田委員 病院としては、私はぜひ80%以上ぐらいをターゲットにということと、近い者が2カ月間備前病院でお世話になったんですけど、本当に心から感謝してるところで、担当の先生もよかったしリハビリもよかったし。それから、個室が非常に広くて、あれで3,240円というたら岡山でいうと1万円ぐらいかなというふうな感じで。田舎は田舎なりに、それなりの個室でいいなど。

最近ずっと病院をめぐるチャンスが多いんですけど、それなりにこの3病院は特色があって、僕は利点がたくさんあると思うんです。だから、もう少しよくPRすれば、民間には失礼ですけど、民間にないよさというのがあると思いますので、公だからPRができてにくいという部分もあるかもしれないんですけど、利便性であるとか、それからいいところを少しずつでもPRしていただければ、本当に入ったら皆さん、いい環境でそれなりの上質な医療が受けれると私はお世辞じゃなしに思っていますので、そういうところをもう少し頑張っていたらなと思うん

ですけど、コメントいただけたら。

○金井病院総括事務長（備前病院） ありがとうございます。3病院とも、公的医療機関としての使命を果たすというところで頑張っていきたいなと思います。病院なんで、PR、宣伝的なことになるとちょっと問題があるのかなと思いますが、逆に、ちゃんとやってるんだということのアピールをしていこうかなと。先ほどリハビリのお褒めの言葉いただきましたけど、いろいろスタッフも新しい展開を、患者さんに来ていただけることについてもいろいろアイデアを出しておるようなんで、若手職員がうまくできるような環境をつくっていきたくて思っております。

○沖田委員 特にこれからリハビリの必要性というのが非常に高くなってくるといいますし、若いスタッフの皆さんの意見もよく取り上げていただいて、そこで働く人たちも、やっていただいているとは思ってるんですよ。だけど、より一層、若い人たちに意見してもらって、患者目線で、公立病院として、いろいろ言われるけど、3つあるおかげで健康で文化的な生活も送れるんだと、最後の頼りになるんだというところでぜひ頑張っていきたいなと思います。

○森本委員 吉永のほうの人が神根と、蕃山のほうもお店を閉められたということで、高齢者の方からなかなか買い物をするところがまたなくなったんだという御電話をいただいているんですけども、そこら辺の情報はつかまれてて、どうお考えですか。

○丸尾社会福祉課長 今、備前市の中でも、「とくし丸」が運行をしておるんですけど、現状として、今どこどこに店がある、ないという情報までは、こちらのほうへは入ってきておりません。

○森本委員 そこで、「とくし丸」に来てほしいんだという要望もよく聞かれますけれども、「とくし丸」のほうも1台なので、ルートの的に厳しいとか、もういっぱいいっぱいなんで厳しいですというお話も特に聞かれますけれども、今のところ、どこの地域を回られてとか、ルートのことはわかりますか。

○丸尾社会福祉課長 全ては把握はしておりませんが、備前市の中では、一番、東のほうでは三石、三国と、そして佐山、吉永を含めて回っているというふうには把握はしております。

○森本委員 ルートの的に余裕があればほかの地域も回りますよという話も聞いたりしてはいるんですけども、実際今1台で皆さんの要望に応えられているかどうかというところまでは、課長はつかんでおられないんですか。

○丸尾社会福祉課長 現段階で、要望のあるところには現地確認等を行ってはおります。その中で、いろんな条件がありますので、時間の関係、そしてルートの関係等を加味しながら、なるべく行ける方向では検討はしております。

○森本委員 今後要望がふえてくる可能性はあると思うんですけども、そこら辺、課としてはどういうふうに対応していこうと。「とくし丸」関係で結構ですけど。

○丸尾社会福祉課長 現段階では、車を何台もふやすというようなことは思ってはおりません。その中で、当然、今まで行っていたところも人が減ってくれば必要がなくなる場所も実際あり

ますので、そういうところは外しながらでも要望には応えていきたいというふうには思います。

○中西委員長 コース表とかはよろしいですか。

○森本委員 要望しときます。委員長がそうおっしゃるので。

○中西委員長 では、丸尾課長、コース表を1週間分なり、わかるようなものを一回ペーパーでお願いできますか。

○丸尾社会福祉課長 ルートの関係、こういう格好で行くという分でもよろしいですかね。この地区に行ってるということ。

○中西委員長 はい。

○丸尾社会福祉課長 はい、わかりました。

○橋本委員 それに関連してなんですけれども、この「とくし丸」が、以前はなかなか採算ベースに乗るとするのが難しいということだったんですけど、今かなり、うちにも来てほしい、うちにも来てほしいということで相当な需要があるみたいなんですけど、採算というのはどういうふうな格好になってますでしょうか。

○丸尾社会福祉課長 現在、備前市の地区を回っていただいているんですが、範囲がかなり広がっています。そうした中で、通常の「とくし丸」に比べて1日の距離が長いということから、採算ということでは黒字ということにはなっておりません。

○橋本委員 大体、月平均の売り上げはどれぐらいの数値を示してとるんでしょうか。

○丸尾社会福祉課長 平成29年度の1日当たりの売上高としましては、平均ですけど、7万8,000円というふうには。

○橋本委員 1日当たりですか。

○丸尾社会福祉課長 1日です。1日7万8,000円というふうには聞いております。採算ベースでは約9万円ぐらい要するというふうには聞いてはおります。ですので、少し赤字かなという思いを持っております。

○西上委員 「とくし丸」に関連いたしまして、佐山地区にも「とくし丸」さんに来ていただいておりますけれども、民間業者も最近移動販売で参入なさっております、大分売り上げも下がるとるんじゃないかなというのはちょっと危惧しておりますけれども、どういうふうに影響があったのか、また対策をこれから立てていかれるのか、その辺をちょっとお聞かせいただきたいと思っております。

○丸尾社会福祉課長 この「とくし丸」に関しましては、基本的には備前市を中心に、備前市を回っていくという格好になっております。その中で、**買い物難民地区**の備前市の端々、三石、それから三国、吉永、そして今言われた佐山のほうですね。そういった地区に対して今回お参りして、その民間の競合する地区が今どこどこなのか私も把握はできてはおりませんが、もしそういうところがあれば、そういうところを避けて、要望のある箇所へ行ってもらうとかという方法も考えていかざるを得んのかなという気はします。

○西上委員 いや、避けてええんですけど。逆に、避けるんじゃなしに、課長、戦ってもらいたいとか、民間に負けんような策を講じてほしいというのが私の言うたことなんですけど。

○丸尾社会福祉課長 無理をして戦う必要もないような気もしますんで、それよりも困った地区への移動販売ということが一番を考えていきたいなというふうに思っております。

○橋本委員 私もちよっとそれで言わせていただくと、戦う必要も避ける必要もないと思うんです。その民間の業者とよく話し合いをして、その地区の買い物難民を解消すればええわけですから。民間がこの地区はもううちのほうがやりますと言って行ってくださりゃあ、その地区を外して、需要の高いところへ振り分けられるんですから、積極的にそういうところと協議をしてほしいんですよ。

○山本保健福祉部長 私も、橋本委員と同じような考えを持っています。ですから、それで競合してる地域があれば、しっかり話し合いをした上で、要はその地域の人が買い物に困らないという体制を整えたいということになるかと思うんで、そこは場合によったら手を引いて、民間にお願いしますよと、そしてそのあいた時間を他のどうしても必要な地域のほうへ時間を振り分けていくといったようなことも今後検討していく必要があるかなと思っております。ルート等も検討しながらこれからはいろいろ考えていく必要があると思いますので、検討しながら考えさせていただきたいと思います。

○中西委員長 先日は当委員会が豊明市を視察しまして、有効な社会資源を活用するという考え方と同じですので、ぜひ検討をしていただくようお願いをしておきたいと。

○沖田委員 ちよっと今危惧してるのが、市内企業を結構回ってまして、いろいろな御要望を聞くんですけど、人材派遣会社に人がいない。逆に、派遣より正職員が欲しい、もう安定して働いてもらえる、結構何社もの会長さんや社長さんがおっしゃるのでびっくりしました。外国人労働者の受け入れも検討と。その中で、社員もそうなんですけど、実は運送会社さんの運転手さんがいないんですよ、クレーンとか玉掛とか専門も含めて。なぜこういうことを言うかということ、市営バスです。便数をふやせとか言ってますけど、運転手さんの確保ができるのかどうかということ、そこを本当に真剣に考えていかないと。もう結構平均年齢が高いと思うんですよ、運転してる人を見ると。ある日ばたっととまったときに、じゃあ運転手さんがおらんから職員が免許を取って乗りますというわけにもいかないし、その辺は考えておられるのかちよっとお聞きしときたいと思います。

○杉田市民協働課長 現時点では、市営バスの運転手の確保はできておりますが、将来的には、徐々に年齢層も上がっていきますので、今後確保のほうが難しくなってくるので、その点については備えが必要かとは考えております。

○沖田委員 というのが、例えばばたっとインフルエンザになったとか、結構トラブルで、民間だったら70過ぎでも運転手を雇ってその間を埋めていくんですけど、例えば雪が降ったとか、そういうときに動けなくなった、あるいは緊急事態で、3人ぐらい慶弔が出るかもしれないです

よ、年齢的にね。そうなったときを含むと、かなり余裕を持った体制を組んでおかないと。じゃあ、きょうは運転手さんが風邪で来れませんからこの路線をとめますというわけには、告知できないと思うんですよ。我々もちょっとバスが来てないところをふやしていただきたいという要望は持ってますけども、あくまでその設備より人をね。そこを、やはり潤沢にある程度確保しなきゃいけないんで、今さら民営化というのも難しいかもしれないんだけども、その部分というのは本当に真剣に考えておかないと思います。

また、この前に僕もわざと質問したんだけど、一般職の職員数は臨時と正職で半々でしょう。この現実から見ると、本当に僕は維持が難しいなと思ってるので、その辺は本当に真剣に、2、3年先じゃなしに、5年、10年先。人数は確かにどんどん減ってますよ。減ってますけど、減るということはそれだけ不便な地域がふえるわけで、そこに交通機関というのは命になるわけですから、考えていただきたいと思うんで、再度質問させていただきます。

○杉田市民協働課長 御発言のとおり、運行管理者とも協議を進めながら今後の対応を考えてまいります。

○星野委員 病院事業について。3病院の連携の具体的な進展というのはあるんでしょうか。事務連携、医療連携などあればお教えください。

○金井病院総括事務長（備前病院） これまでも申し上げておりますように、事務におきましては、予算、条例、職員採用、それぞれ分担して各病院でやるようにしております。医師につきましては、まだ相互の連携というのは、麻酔以外では具体的なものは出ておりません。今後、管理者がどうお考えなのかというのがありますが、職員については幾らか進むかとは思いますが、病院としての連携というのは今後の課題でもあろうかというふうに思います。

私のところでは、ここぐらいの答弁で御容赦いただけたらと思います。

○星野委員 そういった中で、病院の支払い、特に入院費用なんですけど、病院間で垣根を超えての支払いができるようなサービスというのは難しいんでしょうか。できないですか。

○金井病院総括事務長（備前病院） 病院の垣根を超えてという意味がちょっとわからないんですが。

○星野委員 例えば、吉永病院の治療費を日生病院の窓口で支払えるようにできるといったことは難しいでしょうか。

○金井病院総括事務長（備前病院） その必要性はどのようなときにあるんでしょうか。

○星野委員 例えば、日生の方が吉永の病院にかかられてて、わざわざ支払いのためだけに吉永病院まで出向くというのが、費用負担もかかるわけですから、日生病院での支払いができないかというような話を聞いているんです。

○金井病院総括事務長（備前病院） 確かに、夜間とか検査ができないときに後日改めてというケースがあるかと思えます。遠方の方とかで近くの市民病院に行ってというようなことだろうと思うんですが、その会計的、技術的、法令的なものを調べておりませんので、一応そういう

御意見があったということで検討させていただけたらと思います。

○星野委員 ぜひ研究してみてください。

あと、その件で、口座振り込みができる銀行数がちょっと少ないんじゃないかという指摘を、吉永病院については受けてますんで、そのあたりもちょっと研究してみてください。

指定銀行が、1銀行に限られていると思われまして、もうちょっと取扱銀行数をふやせないかという。

○金井病院総括事務長（備前病院） 病院事業は、市も含めてメインバンクが中国銀行なんですけど、中国銀行への振り込みは他行からでもできると思うんですが、お支払いしていただきやすい環境を整備していきますので、また後で詳しく教えていただければ、対応できる範囲では対応させていただきたいと思います。

○守井委員 今年度、県下で災害が非常にたくさんあったなかで、幸いにも備前市では被害が非常に少なかったということですが、それでも何軒かは被害が起きたということで、床上か床下かわからんですけど、災害の見舞金が支払われてるようなんですけど、その復旧状況はどんな状況になってるか、わかれば教えていただきたいと思うんですが。

○丸尾社会福祉課長 今回の災害につきましては、床上浸水の4軒が対象になっております。復旧状況につきましては、全て復旧ができたかどうかというのは把握ができておりませんが、家中のほうの復旧についてはできているというふうに聞いてます。

○沖田委員 念のために病院に確認しておきたいんですけど、備前病院は、うちのおい、長男が亡くなった折、カード支払いができて僕は意外とびっくりしたんですけど、吉永病院と日生病院はカードの決済ができるのかということ。もう一点、電子カルテが日生病院と備前病院が同じメーカで吉永病院が違いますが、将来的に更新をかけるときには、一緒にしてデータリンクできるようにしてほしいなという希望もあるんですけど、その話はしてるかどうかだけ、わかるところで答えていただければ。

○金井病院総括事務長（備前病院） クレジットカード決済については、昨年12月1日より3病院全てできるようになってございます。それから、電カルテにつきましては、以前よりコストの削減とかいろんなメリットがあるということで御提案いただいておりますので、更新時期がずれたりしております関係もありますが、そのあたりは検討課題ということで進めております。

○星野委員 まちづくり会議についてお尋ねします。地区担当制度は企画課で、まちづくり会議は市民協働課というふうに分かれてるわけですが、今後どちらが主導でこの取り組みというのは進めていくつもりなんでしょうか。

○杉田市民協働課長 現状では御指摘のとおり2つに分かれておりますけども、今後もこの状態は継続する予定といたしております。

○今脇市民生活部長 導入のときには、市民協働課のほうでやっていたんですけども、地域担当職員制度のほうは市長の手、足、耳という形で今市長のおひざ元という形になっとるんですけど

も、市民協働課のほうは各種団体ということで、地域的な役割という形になっています。本当に横串がしっかりしていれば、課が分れていても本来は余り関係ないはずだと思います。今回も、こういう話もありまして、市長公室長とも話をし、もっと一緒にかかわってやろうというふうな体制を整えるというお話はもうさせてもらってますんで、今後その様子をまた見ていただいて、機構改革をしてすぐにするというふうにはならないと思いますので、しっかりと横串を通すようにという話はしています。

○星野委員 一般質問でもあったと思うんですが、このまちづくり会議っていうのは、今後どのような形、どのような取り組みとか、どのようなものを目指していかれるというのを、もうちょっと詳しく教えていただきたいと思うんです。

○今脇市民生活部長 これまでは、区会が中心だったと思います。それに、老若男女を加えた、いろんな各種団体を集めたものでまちづくり会議ということで、地域のまちづくりを各種団体一緒になって考えるということにしています。区会のほうでも、区会連絡協議会という、全体の会議がありますけれども、まちづくり会議も、今は全体からいうと半分ぐらいですけれども、これをもっとふえていきますと、まちづくり会議の全体の集まりをと、そういうふうに変化した形にしていきたいなというふうには思っています。ただ、これは当然任意ということで半分になってきますので、これをもうちょっとふやしていきたいと。それからあと、この間の話にありましたように、導入してから1年ぐらいになりますけども、最初は会議費の3万円だけということだったんですが、これからはまちづくり会議のほうでの事業の中心に、あるところとないところで不平等があったらいけないんで、なかなかすぐ全部交付というわけにはいかないですけども、そういうところに事業費を持てる形に変えていって、まちづくり会議が地域づくりの中心になるという形を考えていきたいなというふうには、地域の自立の組織というふうにしていきたいなというふうに思っています。

○星野委員 掛谷議員が一般質問された際に、地域活動を担うリーダーの養成ということで、市民ファシリテーターの養成が有効であると市長が答えられて、今後、職員も含めた、まちづくりにかかわる自治会役員などに対する講座を検討していくという話だったんですが、この例を出された牧之原市と同じ先生をお呼びして、5年前に講座を開いてるはずなんですよ。そういった、市で実施した事業から得られたノウハウというのは、引き継ぎとかっていうのはしっかりされてないんですか。

○杉田市民協働課長 御指摘のとおり、協働のまちづくりファシリテーター養成講座というのが以前行われております。第1期といたしましては、平成24年と25年に全8回、一般の方が26人、市の職員の方が14人、計40名で実施されました。第2期では、平成25年に全3回で、一般の方が12人、市職員の方が15人、計27人で実施されました。講座修了後も、修了者でつくるグループによりサロン等の開催が行われたようです。ただ、その後、平成26年度も計画をされたようなんですけども、参加者が集まらず中止となりまして、27年以降は実施され

ていないというふうに聞いております。その後、活動のほうがとまっているという状況かと思いません。

○**星野委員** 人事異動で課長、係長、職員が異動になったとしても、そういう実施された事業、それから得られたノウハウというのは次の代に引き継がれるような仕組みをしっかりと築いていただきたいと思います。

○**今脇市民生活部長** ファシリテーターは、会議とかの進行役とかそういうスキルを身につけられた方が、この人数おられるということです。いま一度、そういうところに積極的に参加していただく、過去の方も参加していただくように1回設けたいと思います。それから、今後もそういう人を育てるのも、非常にいいので、引き続き、そういう研修を開いていくべきかなあというふうに思います。そういう会議の活性化のためには、積極的に調整できるリーダーというのは非常にいいことだと思います。この間の話ですと、職員のほうにもというお話をしとったんですけど、まちづくりの中でそういう人が育っていくのが本来の趣旨だと思います。そういうところも含めて、改めて掘り起こしといたしますか、そういう人の出番をまたつくっていききたいと思いますし、研修もしていけたらいいんじゃないかなというふうに思ってます。

○**青山副委員長** それに関連して、私も一般質問させていただいたんですが、10地区のうち5地区が立ち上がっているという、そういう状況で、あと5地区がまだということなんですけど、それに対してどういうふうな市としてアプローチなり指導をされているのかということと、今後どうされるのかということをお教えください。

○**杉田市民協働課長** 市民協働課のほうでは、区会、自治会連絡協議会の事務局のほうになっておりまして、そういった場を通じまして、区会の方を中心にこういったまちづくり会議について御紹介をし、立ち上げのほうを検討していただくことをお願いしているところでございます。

○**青山副委員長** それに対してどういう感触なんでしょうか。なかなかいろいろ難しい問題もあると思うんですけど、そういう先へ進まない何か問題点とかというのがあったら教えてください。

○**杉田市民協働課長** こちらのまちづくり会議につきましては、地域担当職員のほうもかかわっております。そういった形でこの会議の立ち上げの検討をお願いしてるわけですけども、地域によってはなかなか難しい状況というのがあるようで、進捗してない地区もあるというのがまた現状かとは思っています。

○**青山副委員長** その原因というふうなものは把握されて、それに対する解決方法なんかというのは皆さんのほうで協議されてるのでしょうか。

○**今脇市民生活部長** 認識としては、従来からそういう素地があったところ、地域が昔はこうだったのに今は活力がなくなっているなという、衰退に対する危機感というか、必要性という中で多分差が出てきてしまっているのかなというふうに思います。今後、先ほど言いましたように、市長公室と地域担当職員がおりますので、それを經由して、できてないところに対しては、事業費

の関係もありますけど、不公平もふえてきますので、しっかり趣旨を説明して、おたくの地域にはどうでしょうかというのをもっともっと働きかけていかないといけないのかと、そういうふう
に思っております。また、昔からのお祭りとか、昔ここは人が多いかったのに減ってきたなど
か、そういう危機感の必要性というのは多分図らずもそうなる、現実としてはそういうことが
あるんじゃないかと思っておりますので、そこも含めて、全体的に盛り上がっていくような、まちづく
り会議全体の会が持てるような規模というか、そういうふうな時代が来るようにしていきたい
というふうに思います。

○青山副委員長 それぞれの事情がおありだと思います。ただ、この前も、全体が立ち上がら
ないとなかなか事業費がつけられないということで、今やっておられるところが、こんなこと言われ
て、あんなこと言われて、本当に積極的に案が出たり要望が出てるところがなかなか、会を開く
んだけど実質的に変わらないというふうなことになる、熱も冷めてきたり、将来に対する希望
もなくなってくるというようなこともあると思いますので、何とか他の地区も立ち上がる、ある
いはそれなりの形ができて、全体が動けるような状態を早くつくっていただきたいと思いま
す。これは要望です。

○守井委員 地域包括の関係でちょっと確認したいですけど。いろんな事業を展開しておるん
だろうと思うんですけども、地域包括はなかなか難しい事業で、現在やってる介護支援とか、いろ
んなものも含め、あるいは医療と介護の連携を図るという会議をやっておるというような形なん
ですけども、豊明市は一つの方向性の例というような感じなんですけれども、地域包括が現在
どのように進めておられるか、ちょっとお聞きしたいというふうに思います。

○今脇介護福祉課長 7月の厚生文教委員会でも御報告しておりますが、現在の取り組みとして
は、この委員会のときに提出しました資料のとおりで活動しております。

○守井委員 どんな状況で進んでおるんでしょうかね。順調に進んでおるといふ捉え方でいいん
でしょうか。

○今脇介護福祉課長 全体的には順調に進んでいるかと思うんですが、特に介護予防体操を中心
としたサロンを広げていくというところで、こちらも力を入れております。

○守井委員 制度設計をよくしていただいて、年度でこれだけのことができたというものを積み
重ねていただくように。2020年、後期高齢者がふえていくというような時代を迎えることにな
りますので、ぜひ早目に取り組んでいただきたいというふうに思いますので、その点で何かあ
りましたらお願いいたします。

○今脇介護福祉課長 何かの進捗状況を示す指標というものが必要になるかなとは私自身で思っ
ておりますので、その辺のことも検討して、目に見える形で、このように進んでおりますとい
うことが報告できるような形にしていきたいと思っております。

○森本委員 放課後児童クラブなんですけど、備前市は今待機児童はおられますか。

○眞野子育て支援課長 待機児童ということでは聞いておりません。

○森本委員 こども園とか保育関係が無料になった関係で、働くお母さんもふえて、児童クラブのほうを利用したいんだけどなかなか入れないんだという声も実際聞いたりはしてるんですけども、課長も御存じなように、放課後児童クラブの職員の基準が撤廃という話も出てきたりして、今後の方向性として備前市はどういうふうに考えておられるのか。今の流れでは、地方に任すということなんで。

○眞野子育て支援課長 地方に参酌すべき基準ということで流れてきているようではあります。まだ市長が認めるものということになっておりますので、確かに不足している地区もあると聞きますけれども、うちのほうではまだそこまでの基準を緩めるということについては考えていない状況です。

○森本委員 中には不安な声も聞いてますので、職員さんの資格というか資質というのはしっかり守っていただきたいというふうにこちらは考えているので、ぜひその方向で進めてもらいたいと思います。

○眞野子育て支援課長 十分検討してまいります。お願いいたします。

○中西委員長 ほかに。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようでしたら、これで所管事務調査を終わってもよろしいでしょうかね。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、ないようですので、以上で厚生文教委員会を閉会いたします。

皆さん、どうも御苦労さまでした。

午前11時14分 閉会